

**製品名: ACAD-11 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab06459**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	87kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ACAD11
別名	ACAD11; Acyl-CoA dehydrogenase family member 11; ACAD-11
遺伝子 ID	84129.0
SwissProt ID	Q709F0
免疫原	抗血清はヒト ACAD11 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 381-430

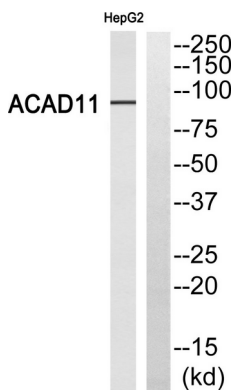
**背景**

アシル CoA 脱水素酵素ファミリーメンバー 11 (ACAD11) ホモサピエンスこの遺伝子は、20 から 26 の炭素鎖長を優先するアシル CoA 脱水素酵素をコードしています。自然に発生するリードスルー転写は、上流遺伝子 NPHP3 (ネフロン癆 3 (青年期)) とこの遺

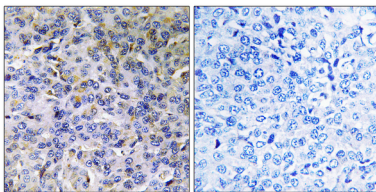
伝子の間で発生します。[RefSeq 提供、2015 年 8 月]、代替製品: 追加のアイソフォームが存在するようです、疾患: NPHP3 の欠陥は、腎肝嚢形成 (RHPD) の原因です[MIM: 208540]。RHPD は常染色体劣性疾患であり、その発現は多様です。新生児期を生き延びた患者は腎不全および肝不全に進行しますが、肝腎同時移植によって治療が成功する可能性があります。、疾患: NPHP3 の欠陥は、ネフロン癆 3 型 (NPHP3) [MIM:604387]の原因です。これは思春期ネフロン癆としても知られています。NPHP3 は常染色体劣性疾患であり、末期腎不全を引き起こします。多尿、多飲、貧血を特徴とします。末期腎不全の発症年齢は、若年性ネフロン癆よりも有意に遅く (中央値 19 歳)、発症します。腎病理は、尿管基底膜の変性、尿管の萎縮および拡張、硬化性尿管間質性腎症、そして主に皮髄接合部における腎嚢胞の形成を特徴とする。、機能: 腎細胞の一次繊毛における機械感覚に関与する可能性がある。、類似性: アシル CoA 脱水素酵素ファミリーに属する。、類似性: 11 個の TPR リピートを含む。、サブユニット: NPHP1 と相互作用する。、組織特異性: 低レベルで広く発現している。心臓、胎盤、肝臓、骨格筋、腎臓、脾臓で発現している。脳と肺でも非常に低レベルで発現している。、

## 研究分野

## 画像データ



ACAD11 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンが ACAD11 ペプチドでブロッキングされている。



ACAD11 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右レーンが ACAD11 ペプチドでブロッキングされている。